

4. 事業効果の事例

○無堤部における海岸堤防の整備により浸水被害を解消【宮城県岩沼市】

一連の海岸堤防を整備することにより高潮等から背後地を守る

宮城県仙台湾南部海岸の蒲崎工区は無堤区間が存在しており、周辺地域は高潮等による度重なる浸水被害を受けてきたが、一連の堤防を完成させることで浸水被害を解消することができる。

整備着手直後の状況



H15. 10撮影



H15. 11撮影

侵食を受けた海岸



市道冠水



H18.10.7
高潮による浸水

二の倉工業団地 浸水状況

整備状況

一連区間の堤防を完成させ、浸水被害を解消 (H21 予定)



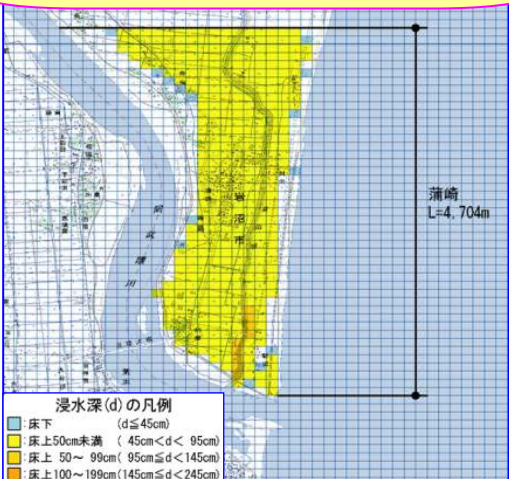
H21. 6撮影



H21. 5撮影

整備効果


堤防未整備における浸水想定区域



蒲崎 L=4,704m

浸水深 (d) の凡例
 ■ 床下 (d ≤ 45cm)
 ■ 床上50cm未満 (45cm < d < 95cm)
 ■ 床上 50 ~ 99cm (95cm ≤ d < 145cm)
 ■ 床上100 ~ 199cm (145cm ≤ d < 245cm)

一連区間の堤防を完成させ、浸水被害を解消



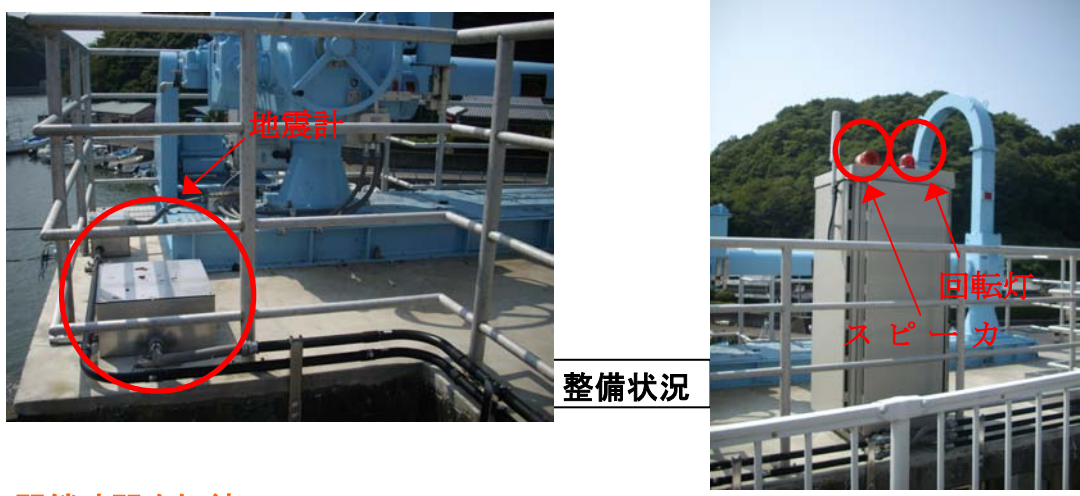
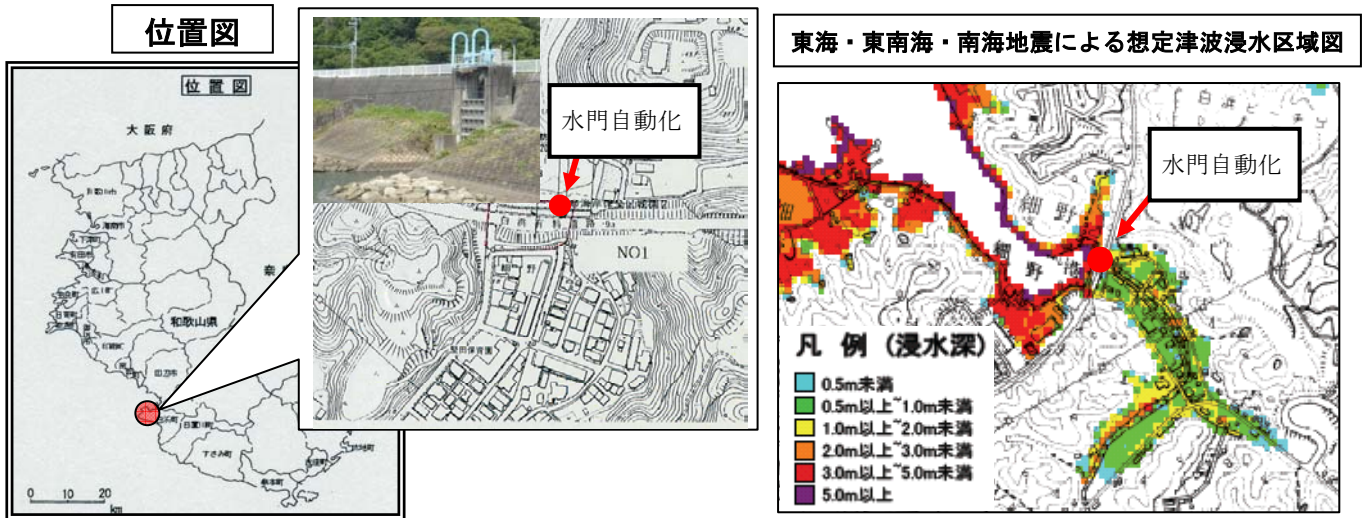
蒲崎 L=4,704m

— H21 実施
— 整備済み

○水門の自動閉鎖により津波被害を防止【和歌山県西牟婁郡白浜町】

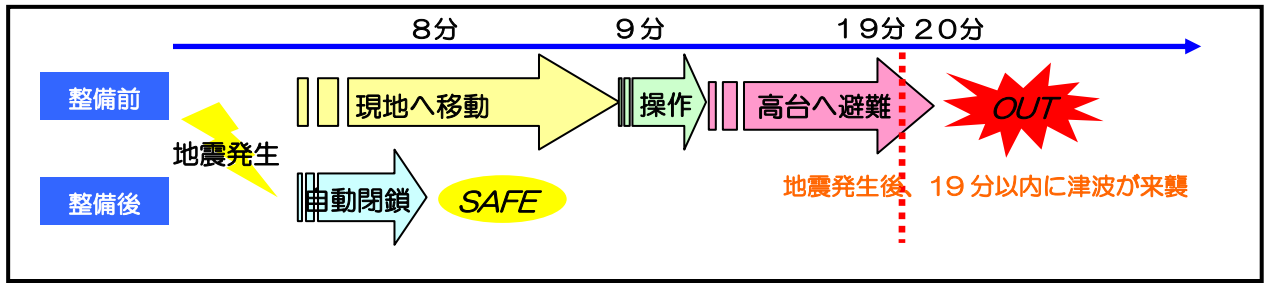
水門の自動化により、津波来襲前に閉鎖完了

白浜海岸は、和歌山県の中南部に位置し、背後には白浜町の人口集積地帯が広がっている。今後発生が予想される東海・東南海・南海地震時に想定される津波は、地震発生後19分程度で第一波が来襲し、最高波は4.5m以上と想定されている。これまで水門閉鎖操作は手動であったため、水門閉鎖に時間を要した。このため、水門の自動化を実施することにより水門等の閉鎖体制を確保し、背後住民の人命及び財産を守ることが可能となった。



整備状況

水門の閉鎖時間を短縮



自動化を行うことで、津波来襲前の開口部の閉鎖が可能

○離岸堤、人工リーフの整備により河川からの供給土砂を捕捉し砂浜を回復
【新潟県新潟市】

離岸堤、人工リーフの整備が波浪を低減し、砂浜を回復

新潟県新潟海岸は、冬期風浪等の影響による侵食が著しかったが、侵食対策として離岸堤や人工リーフの整備により、波浪を低減し、河川からの供給土砂を的確に捕捉することで、砂浜が平均で約50m回復している。

整備着手直後の侵食状況



冬期風浪により船小屋基礎部まで砂浜が流失(有明浜工区)

整備後の砂浜回復状況

